

(様式2)

個別事業等実績評価シート

平成27年12月時点

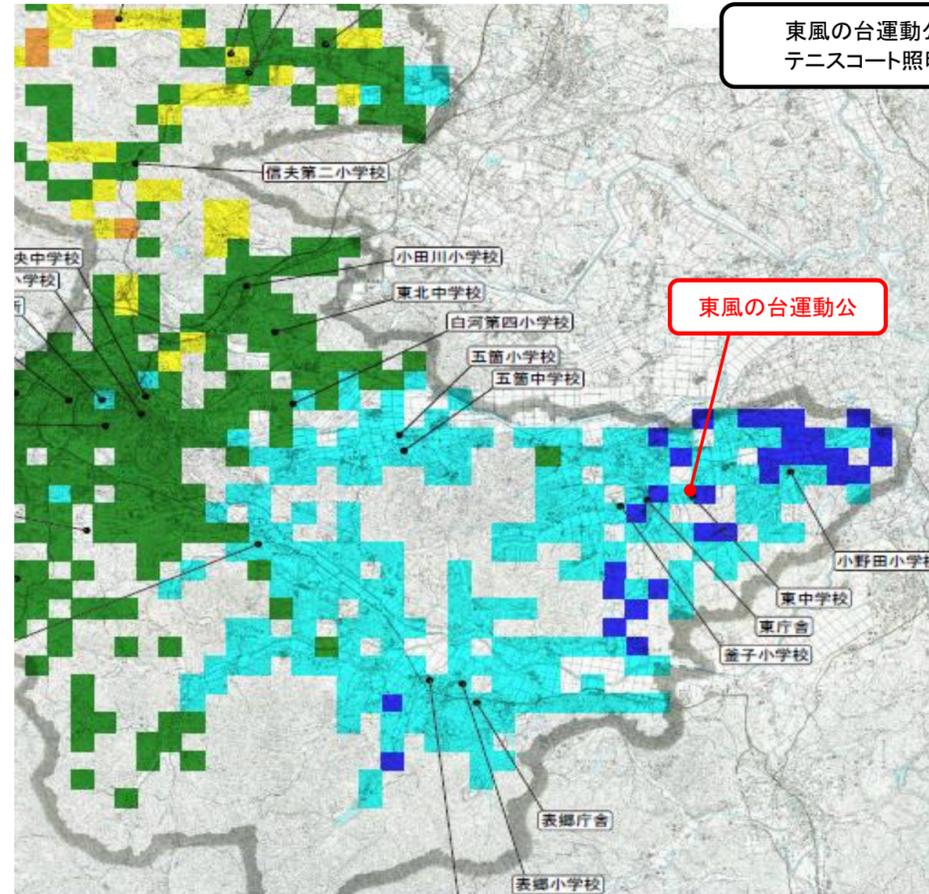
県名	福島県	交付期間	平成25～26年度	交付対象事業費	27,832千円
市町村名	白河市	実績評価実施時期	平成27年度	評価対象事業	B-1-3

1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障の解決に係る目標(注1, 2)

○地元の小中学生スポーツ少年団の活動拠点となっている東風の台運動公園内のテニスコートを砂入り人工芝に張替えるとともに全てのコートで必要な照度が確保できる照明施設に更新することで、夜間においても子どもたちが効率的に活動できる環境を整備し、もって子どもたち1人当たりの運動時間の確保と更なる施設利用者の増加を図る。

【区域全体図】



東風の台運動公園
テニスコート照明整備事業

東風の台運動公園

【事業詳細】

(1) 事業概要

施設内のテニスコート(全5面)を砂入り人工芝に張り替えるとともに、夜間利用時に於いて全てのコートで照度が確保できる照明施設へ更新することで、放射能不安のため屋外での運動機会が十分に確保できない地域の子どもたちが安全で安心して活動できる環境を整備し、さらには夜間において子どもたちが効率的に活動できる環境を整える。

(2) 事業の実施状況

〔工期〕 テニスコート 照明施設 平成26年2月3日～平成26年5月9日(供用開始日:平成26年5月9日)

〔運営状況〕 利用時間:午前9時～午後9時まで(火曜日定休日、12月28日から翌年1月4日まで休業)

照明利用料金(1コート1時間につき):市内一般 720円 市外一般 1,020円

〔利用者数〕 平成25年(4～9月)の夜間利用者:1,697人

平成27年(4～9月)の夜間利用者:1,957人(平成25年度比:+260人)

(3) 人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

〔避難者数〕

全国避難者システム等を基に市が独自にとりまとめた市外への避難者数は、平成25年4月5日時点では169世帯467人であったが、平成27年11月18日現在は156世帯433人と減少している。

〔肥満傾向〕

肥満度を測る指数が平成26年度から変更となったため、平成26年度と平成27年度での比較となるが、市内小学校における肥満度が20%以上の児童の割合は11.43%から10.72%に改善している。

〔体力テスト〕

市内小学校において平成25年度に実施した体力テストでは、総合評価がAまたはBの児童の割合は36.9%であったが、平成27年度の同テストの結果は40.1%となっている。

(4) その他

平成27年11月17日に白河市スポーツ推進審議会委員に評価結果について報告したところ、特に意見はなかった。



H27.11.12(地元スポーツ少年団が、新設されたナイターを利用してソフトテニスの練習をする様子)

事業計画推進による効果・変化

○8月及び9月の天候不順が影響し、平成27年度(4～9月)の中学生以下の利用者数は5,459人であり目標の5,500人には届かなかったが、震災前の平成22年度の中学生以下の年間利用者数4,663人を大幅に上回っている。

○東日本大震災及び原子力発電所事故が発生した平成23年度以降の中学生以下のナイター利用者数は以下のとおりであり、特に日没時間が早まる冬季における子どもたちの運動機会の確保に効果があった。

中学生以下のナイター利用者数の推移 H23:924人(①[4～9月]289人+②[10月～3月]635人) H24:1,943人(①1,584人+②359人) H25:1,901人(①1,649人+②252人) H26:2,484人(①1,494人+②990人) H27:1,870人(①1,870人)

効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)

○当該施設は、地域の小中学生・スポーツ少年団による利用が多い。その子どもたちを指導するテニス協会会員には、全国中学校テニス大会や全国高等学校テニス大会等で活躍してきた方が多く、技術の高い地元指導者の人的ネットワークを活用した交流大会やスポーツ教室等が定着しつつあり、指導を受けた小中学生が各種大会で優秀な成績を収めるようになってきている。近隣市町村の高校生の利用も増加傾向にあることから、引き続き広域的な利活用と子どもたちの運動能力の向上を図る。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。